

# 東北大学交響楽団 第161回定期演奏会

G. ビゼー

「カルメン」第1組曲・第2組曲より抜粋

B. スメタナ

連作交響詩「わが祖国」より 第1曲《ヴィシエフラド（高い城）》

F. メンデルスゾーン

交響曲第3番 イ短調 作品56「スコットランド」

指揮 高橋信雄（当団副指揮者）

客演奏者(Harp) 中村由美子  
（元東京フィルハーモニー交響楽団ハーブ奏者）

2013.12.7（土） 18:00 開場 18:30 開演

川内萩ホール（旧川内記念講堂）

自由席 = ¥1,000 指定席 = ¥1,500

東北大学交響楽団

Tel: 080-6606-1293（鈴木）  
E-mail: tuso.161@gmail.com  
http://www.tohokuuniv-orch.com

【プレイガイド】=（株）ヤマハミュージッククリエィング仙台店、東北大学生協川内店、  
藤崎、（株）仙台三越、カワイミュージックショップ仙台

【協賛】= 七十七銀行七萩会 【後援】= 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

@@@ 仙台放送局、TBC東北放送、NHK仙台放送、KHB東日本放送、ニッポン放送

Date fm、河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局  
産経新聞社東北総局、読売新聞東北総局

# 東北大学交響楽団

## 第161回定期演奏会

### 指揮 高橋 信雄 (当団副指揮者)

福島県生まれ。1983年、東北大学教育学部入学と同時に東北大学交響楽団に入団。フルートパートに所属し首席奏者を務めた。1988年より練習指揮者となり、定期演奏会や夏季合宿での練習指導のほか入学式や演奏旅行などで指揮を務める。フルートの腕前もさることながら、論理的かつ情熱的な音楽と指揮により団員から絶大な支持を受け、2007年に当団副指揮者に就任。

2010年の第154回定期演奏会ではリストの交響詩「前奏曲」他を、2012年の第158回定期演奏会ではブラームスの交響曲第一番他を指揮し、好評を博す。

本職では東北文化学園大学医療福祉学部にて准教授として学生を指導するとともに、声と言葉に関する障害のリハビリテーションに関する研究活動に従事している。

### 中村 由美子 (元東京フィルハーモニー交響楽団 ハープ奏者)

東京藝術大学卒業後、フランスに渡り、世界的ハープ奏者であるリリー・ラスキーヌ氏のもとで研鑽を積む。ニース国際音楽講習会でディプロマを得、パリにてジャック・イベール夫人主催のコンサートに出演。帰国後、フランス大使館文化部後援によりジャック・イベール記念コンサートに出演し「10の楽器のためのカプリッチョ」を日本初演。

洋絃会、コルデ47、ハープの調べを楽しむ会シリーズ、ヴァイオリンとの二重奏、フルートとの二重奏、独奏の活動を続けている。また、モーツァルトの「フルートとハープのための協奏曲」をはじめ、ヘンデル、ピエルネ、イサン・ユン、グマーズの協奏曲をオーケストラと協演。日本ハープ協会ハープフェスティバルの際には当時の美智子妃殿下の御来臨を賜り若尾英子氏の作品を演奏し好評を博す。

ハープを芝尻子、ヨゼフ・モルナル、桑島すみれ、リリー・ラスキーヌ各氏に師事。ピアノを大森百合子、岩崎操各氏に師事。元東京フィルハーモニー交響楽団ハープ奏者。

### 東北大学交響楽団

東北大学交響楽団は1921年に発足し、大学オーケストラとしては日本有数の長い伝統を持つ。1949年のベートーヴェンの交響曲第九番東北初演や、1959年のブラームスの交響曲第一番仙台初演など、積極的な活動を続けて来た。

年2回の定期演奏会と大学公式行事での演奏を活動の中心に据え、これまで国内外から著名な指揮者・ソリストを招き、常に音楽性の高いコンサートを目指してきた。

2012年10月には、宮城県立山元支援学校主催の「東日本大震災、やまようコンサート…希望の種をまこう…」に出演。今年6月の第160回定期演奏会では東日本大震災の犠牲者への鎮魂、震災からの復興へ向けてヴェルディの「レクイエム」を演奏するなど、地域に根差した活動も行っている。

#### 交通案内

- 市営バス 仙台駅前9番乗り場より「宮教大・青葉台行」または「動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」下車(乗車15分)、徒歩3分
- 演奏会終了後、仙台駅直行臨時バス(無料)を運行いたします。

当日は混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。  
乳幼児など、就学前のお子様同伴、入場はご遠慮ください。

